

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

アンケート期間:平成 31年 1月 20日～平成 31年1月 31日

公表:平成31年3月1日

事業所名 放課後デイサービスまごころレフト

事業所名放課後デイサービスまごころレフト

保護者等数(児童数) 5 回収数 4 割合 80%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	1		1		玄関やさりを織りのスペースを確保した。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3			1		加配気味に配置している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	1				すべての活動空間を構造化してバリアフリー化を進めている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	1		1		遊ぶ・学ぶ・おやつにふさわしい空間になっている。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3	1				保護者のご意見を聞きながら作成している。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4					項目内容は今後はガイドラインで示されたものに変更してまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	1				計画に沿って支援している。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4					テーマは同じでも内容を変化させている。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1		2		現在はその機会がないので今後の課題。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					契約時に丁寧に説明している。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	2	2				具体的な方法について事業所内で勉強している。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3	1				連絡帳等で共通理解できるように改善している。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	1				送迎等の度に支援を呼び掛けている。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		3		1		父母の会はないが交流や祭り等で呼びかけている。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4					常に傾聴につとめている。すぐには解決できない事例が多いけれども一緒に考えています。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	1		1		連絡帳・会報・デイだより等で情報伝達と収集をしている。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4					いつも最新情報を発信している。月1回の会報、デイだより、イベントチラシ配布等。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4					個人情報資料の取り扱いには十分注意している。	
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	3	1				完成めざして策定している。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1				地震・火災・洪水に関しては訓練を月1回やっている。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	3			1		そうであってほしい。
	23 事業所の支援に満足しているか	3			1		満足いただけるように努力を続けたい。
		73%	17%	0%	10%		

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成31年2月21日

公表:平成 31年 3月 1日

事業所名 放課後デイサービスまごころレフト

	チェック項目	はい、いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	1	活動内容に応じてパーティションで部屋を区切って活動している。	転倒やケガなど過去の事例をもとに会議を通じて安全対策に務めている。
	2 職員の配置数は適切である	8	3	職員が多い日もあり、少ない日もある。適正配置に努力している。	安全の為、加配状態になっているが、それを外出機会などに活用している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	1	利用者に理解しやすいよう「〇〇のお部屋」と統一された形で利用者・職員共に共有されていないのでは	手すりなど、出来る限りのバリアフリーを確保して。配慮が必要な時に対応している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12	0	毎日デイが終わった時、清掃をして清潔に保っています。	デイ終了後の清掃は毎日行われており、清潔の保持はなされている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	8	職員すべてとはいえない。業務改善の目標設定が共有されていない。	活動は週単位となっており翌日には改良版で活動をめざしている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	2	保護者によるフィードバックの内容が概ね高評価でもあるが、ホームページ掲載に留まっているので、改善に繋がっていないのでは。	保護者の評価は真摯に受け止め改善すべきは改善したい。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	0	当事業者ホームページで公開している。	2017年の自己評価とともに公表している。下がった評価については反省したい。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	6	外部評価がなされているか否かの情報公開がない	外部評価団体を調査中でありスタッフにも詳しくは説明してはいない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	1	できれば研修は職員のみが行けるようにしてほしい。個別研修の報告内容は会議にて共有されている	時間と経費を考慮して可能な限り研修の確保をしている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	2	まだ、不十分である。支援計画の分析結果を視覚化されて公開したのは最近の事、職員に周知されているとは言い難い	ニーズや課題を客観的に分析する時、スタッフの意見も参考にしながら計画を作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3	活動記録は標準化されている。その他ツールは不明	適応したかしないかはスタッフの主観に頼る場合が多い。繰り返し活動して統計的に判断。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	1	運営規定をガイドラインに沿って変更した	放デイのガイドラインも参考にして具体的な内容に計画を変更していく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	1	スタッフまで伝わってきていない	児童個々の支援計画がいつでも分かるように見える化する。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	3	事務局会議で行っている。事務局が一方向的に決定しているように見えるが。	今後は事務局で提案してスタッフの意見を取り入れたい。
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	2	同じカリキュラムでも内容を少し変えている。固定化されている。	修正内容を明確にしていく。	

提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	8	2	伝達されてきていない	集団活動を主にして個別活動で補充している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	0	打ち合わせ内容は日誌に記録している	ミーティングを行っているが、送迎で全員はそろわない。役割分担は前もって伝えている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	0	ミーティング不参加もありうる	送迎終了後ミーティングを行っているので参加出来ないスタッフもいるが伝達している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	1	意見があれば改善を試みる。記録はつけているだろうが、検証・改善にはつなげているかは不明瞭	記録を取っているが検証・改善に努力している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	2	定期的なモニタリングは実施が出来ていないが見直しはしている。情報は適宜共有されているが、判断する役割は与えられていない。	誕生日で計画範囲を分散させながら支援計画を立てている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	0	デイ会議にて公開・共有されている。	会議出席者とのスタッフとの情報共有が不十分であるので会議で補足説明をしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	1		連携していない。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	2	現在は受け入れていない	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、受け入れ体制を整えたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	5	受け入れていない	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、受け入れ体制を整えたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	1	お迎えの時に聞いている。デイ会議にて報告を受けている。関係移行支援として教育機関との「引き継ぎ」時に共有されている。	不十分である。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	0	お迎えの時に聞いている	担当者会議の範囲であり不十分だと思っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	4	連携・助言・研修内容はデイ会議にて報告を共有している	可能な限り受講している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	8	交流はない。デイの活動で設定されていない。	機会がない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	6		時間をみつけては参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0	送りの時にはなしている	機会ある毎にお子さんの状況を聞くようにしている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	4	ペアレントトレーニング資料はホームページ上で公開している。	相談があれば支援を行っている。ペアトレの勉強から勉強している。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	2	改定の時に行っている。事務局任せになっている。	契約時を始め、いつでも聞かれれば説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	1	分かりやすく説明するようにしている	支援が始まる前に計画について同意を得ている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	3	送りの時に伝えている。定期的ではないが、相談があれば随時。相談された場合に備え常勤スタッフに報告している。	職員と保護者との相談で悩みなどをお聞きして支援しています。つねにお役にたてればという心構えで支援している

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	2	開催されてはいる。	保護者会としては活動していないのでそれに代わる活動を今後は検討したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	2月より活動記録を連絡帳に改定して双方向ツールとしてより連携を図れるようにした。	相談の申し入れに対しては最優先で対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0		いつも最新情報を発信している。月1回の会報、デイだより、イベントチラシ配布等。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12	0	利用者は他の利用者の名前を知っているが、引き渡し時に「お友だち」と表現を変えている	定例会や会議でも注意をよびかけている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	送迎においては当事業所手順に応じた上で「車内における環境調整」に務めている。	送迎時が多いが機会をみては情報伝達に努めている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11	1	ふれあいまつり等で交流する機会を設けている。夏季にプール開放を行っている。	プール開きや金華山登山、まつり等で参加を呼び掛けている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	1	避難訓練は月1回行われているが、その他マニュアル化を含めて周知徹底されていない。	それぞれのマニュアルについては継続して整備している。特にインフルエンザ予防対策
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	0	避難訓練は月1回開催。	地震・火災時を想定した避難訓練は毎月開催している。広域避難所へ検討中
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	2	詳しく保護者からお聞きしている	可能性のある場合は対応している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	2	アレルギーのある子どもにはクッキング等でも確認をしてからメニューを考えています。医師の指示書ではなく保護者からの伝達に留まっている。	食物アレルギーについてはあらかじめ保護者に確認している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	0	定例会でヒヤリハットの発表などしている。	毎月ひやりハットは会議で発表しており、資料は蓄積して再発防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	1	研修会でのパンフレットはコピーして定例会で配布し、理解している。外部研修受講者が会議等で発表している。研修というレベルにまでは達してはいない。	研修の機会があれば順番に受講している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	3	契約時に伝えている。進言や情報交換は行えるが、組織的に決定する決定権がない。	契約時には非常時の身体拘束について説明している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。